

山口七夕会通信 VOL. 7

2010年 6月20日

発行：山口七夕会事務局
(山口市企画経営課内)
山口市龜山町2-1
TEL083-934-2746
FAX083-934-2642

第12回山口七夕会交流会を開催しました!

去る、4月17日、94名(男性54名、女性40名)の参加で第12回山口七夕会会員交流会を開催しました。

【八木会長挨拶<要約>】

●おはようございます。若葉の美しい季節となりました。本日は、「第12回山口七夕会会員交流会」にお集まりいただきありがとうございます。

●本日は、講演会講師の清川妙先生のご縁で、かなめ会、桜園(おうほ)会などの会員以外の方も多く参加いただいております。誠に、ありがとうございます。

●これを機会に、今後も「山口市ゆかり」のご縁で私ども山口七夕会の仲間の輪に加わりいただければ幸いです。

●山口七夕会は、平成11年に、山口市をこよなく愛し、山口市の発展を願う人々の会として、山口市出身者の方および山口市にゆかりのある方たちが集まって創られたもので、現在、首都圏を中心に約250名の会員がおります。山口市役所に事務局を置き、年に一度の総会開催に補助をいただきながら活動してまいり、今年から新たに30代の会員を中心に「首都圏事務局」を立ち上げたところでございます。

●この山口七夕会も設立されてから昨年で10年を迎え、昨年、10周年記念誌を出し、これを契機にさらなる発展を期することとし、新たな役員体制でスタートしました。そして、今後の新たな10年の活動ビジョンを考える必要性を感じ、議論を行なっています。

●3月には、ふるさと山口に戻り、「第1回山口七夕会ふるさと交流会」を開催し、山口市長を初め、市役所幹部、商工・観光団体、ビジネス交流会、山高、かなめ会の役員など広範囲な方々と意見交換を行って参りました。この中で、山口市の外からの意見や交流を求める熱い期待を感じたところです。また、平成の大合併で新市域となった「阿東、徳地、小郡、阿知須、秋穂」の各地も「ふるさと山口探訪ツアー」として見学してきました。全国27位の面積をもつまでになった新しい「山口市」には、歴史・文化・芸術が薫り高く息づき、また、海あり山ありで、豊かな自然にも恵まれています。今後、年二回程度「ふるさと山口」との交流を企画して参りますので、みなさまにも是非ご参加いただくようお願いいたします。

●私たちは、山口市に生まれ、育ち、学び、働き、憩う場としての「ふるさと山口」を絆に、今後、会員の皆様の意見をお聞きしながら、さらなる発展の10年をめざして「山口七夕会2020ビジョン」を策定してまいります。

●本日は、役員の中からも強い推薦がありました、清川妙先生の講演会です。さらに、講演会に続く懇親会では、清川先生にも加わっていただき、少年・少女の時代に戻って語り、また、会員相互の懇親を深めていただければ幸いです。よろしく願います。ありがとうございました。

【交流会の様様】

●八木会長の挨拶に続き、山口市役所・中村総合政策部長から山口市の近況について報告がありました。

●清川妙先生は、山口県立山口高等女学校・山口県立山口高等学校で教職につかれていたこともあり、会員の中にも教え子がおられたりして、和やかに交流の輪が広がりました。50冊用意された著書も売り切れ完売の好評でした。また、清川先生が山口高等学校の校歌の作詞者であることから、渡邊幹事の指揮で「山口高等学校校歌」、「山口県民の歌」を歌うなど盛り上がりを見せた交流会でした。



☆中村部長の挨拶☆



☆清川妙先生の講演☆



☆懇親会での合唱☆

特に

今年は 山口が元気です!



今年、大内氏による山口開府から650年、また富士山の噴火により一時枯渇した湯田温泉が再び湧出しはじめてから300年の記念の年です。これに際し、山口の歴史や文化を再確認するとともに、これらを活用した山口の魅力発信の大きな契機として、民間と行政が一体となって様々な取り組みを行っています。

ここでは、このうち特に夏から秋にかけてのイベントをご紹介します。山口に帰られた際、またこれを機会に山口に帰郷いただき、ふるさとの伝統や文化、またこれを基とした新たな魅力に触れてください!

山口七夕ちょうちんまつり

8月6日(金)
7日(土)
山口市中心商店街
【ちょうちんツリー・
すだれちょうちん】
6日19時~
【よさこい・新山笠巡行】
7日18時~



国指定重要文化財 龍福寺保存修理工事 特別公開

10月2日(土)・3日(日)
龍福寺本堂

陶晴賢の乱で消失した後、1557年に毛利隆元が大内館跡に建立した名刹です。

明治14年に火災に遭い、大内氏の氏寺興隆寺の釈迦堂を移築したものが現在の本堂です。

現在保存修理中であり、桧皮葺の葺き替え作業の様子を間近でご覧いただけます。



現代アート霧の彫刻

8月7日(土)~10月17日(日)
中央公園
(アーティスト 中谷芙二子、高谷史郎)

山口の自然環境は、川によって水陸の町並みが作られ、雲や霧によって天地がつながる、日本の中でも特別な景觀を生み出しています。

それは大内時代からも連綿と受け継がれてきたもので、山口十境詩でも詠われています。

この作品は、アーティストが造形し、人工的に作り出される霧の空間のインスタレーションによって、霧を美的な対象であり、自然と共生する彫刻表現として提案するものです。



湯田温泉夏まつり

バラの足湯
毎週土曜日
14時~
18時
無料



夕涼み
ナイト観光バス
午後8時15分に松田屋ホテル前を出発。
雪舟庭や瑠璃光寺五重塔を巡ります。
7月23・24・30・31日
8月13・14・20・21・27・28日
9月18・19・20日
お一人様大人500円・小中高生200円